

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	北守 清	(3) 山行日:	2005年	4月	24日	(4) 天候:	快晴・積雪3m
分水嶺区分:	P721～H099	781.4～P854:	H098方向	会員番号:	13077	事務局整理記入欄	北海道 - 200		

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
CL北守 清	13077						
SL助田 陽一	12995						
田島 祥光	13058						
助田 梨枝子	12996						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: 佐幌岳北方P1036～H100稚空知山～H099 784.1～前回のテント場P854

アプローチ:

地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点 H099	C728東 P721 781.4	北落合 十勝ペング山	142	44	12.9	43	14	11.8	721	/	7:20	B-4	(9) C1
			142	44	47.8	43	15	35.1	786		9:05	9:20	B-4
分水嶺離別点	C863西 P854	十勝ペング山	142	45	16.9	43	20	40.3	854	15:45		B-4	(9) C2
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):												13時間50分	(3日間の合計)

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H099	781.4		未確認	未確認	積雪の為確認出来ず。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

稚空知山P942.6鞍部から分水嶺終了地点までの間は、白樺、ダケカンバ、トド松(直径30～50cm)が多くみられる。下ホロカメットク山に近づくにつれ、トド松とダケカンバが多く、特にトド松は直径30～50cm位が多い。

(10) その他の特記事項

第2日目(24日)は、朝から快晴で円錐形の下ホロカメットク山が進む正面に見える。昼食(11:00～12:10)をしていると、エンジン音が響きスノーモービル7台が近づいてくる。佐幌岳から2時間位で来たとか。2日目も予定より4.5kmも進む。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
P779より十勝連峰を望む(24日10:32分)

山行報告書(続き)
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



P779より十勝連峰を望む(24日10:32分)